

都市再生整備計画 事後評価シート  
武生北部地区

平成30年3月

福井県越前市

様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名                                 | 福井県   | 市町村名                                     | 越前市           | 地区名  | 武生北部地区  |   |   | 面積      | 1,240ha    |   |   |          |
|---------------------------------------|---|--|---------------|--|---|---|---|---------|------------|---|---|----------|
| 交付期間                                  | 平成25年度～平成29年度   |  | 事後評価実施時期      | 平成29年度   | 交付対象事業費   | 2,767百万円  | 国費率   | 0.4     |            |   |   |          |
| 1) 事業の実施状況                            | 当初計画に位置づけ、実施した事業  |  | 基幹事業          | 道路(都)本田線、(都)河濯線、(都)村国中央線、公園(武生中央公園、丹南総合公園)、地域生活基盤施設(多目的広場(瓜生町)、蔵の辻憩いの広場)、高質空間形成施設(広小路通り)                             |   |   |   |         |            |   |   |          |
|                                       |   |  | 提案事業          | 地域創造支援事業(まちなか住宅団地整備支援事業、まちなか住宅取得支援事業、まちなか空き家等リフォーム支援事業、新婚世帯家賃補助、学生地域貢献活動等補助事業)<br>事業活用調査(事後評価分析、市街地再構築事業、バリアフリー整備事業) |   |   |   |         |            |   |   |          |
|                                       | 当初計画から削除した事業  |  | 基幹事業          | 道路(都)本田線、(都)河濯線  |   | 他事業へ移行したため事業を削除   |   | 影響なし    |            |   |   |          |
|                                       |   |  | 提案事業          | なし   |   | -   |   | -       |            |   |   |          |
|                                       | 新たに追加した事業   |  | 基幹事業          | 道路(市道第1122号線)  | 武生中央公園整備事業と連携し、武生中央公園から中心市街地への歩行者・自転車通行の安全性を確保するため事業を追加 |   | 武生中央公園整備により公園利用者の増加が期待されることから、指標3「休日の歩行者数」を上方修正する     |         |            |   |   |          |
|                                       |   |  |               | 道路(市道第1070号線)  | 中心市街地や建替が予定されている本庁舎へのアクセス性を向上させるため事業を追加                 |   | 武生中央公園整備により公園利用者の増加が期待されることから、指標3「休日の歩行者数」を上方修正する     |         |            |   |   |          |
|                                       |   |  | 道路(市道第1086号線) | 中心市街地や建替が予定されている民間病院へのアクセス性を向上させるため事業を追加   |   | 武生中央公園整備により公園利用者の増加が期待されることから、指標3「休日の歩行者数」を上方修正する                       |   |         |            |   |   |          |
|                                       |   |  | 提案事業          | 地域創造支援事業(まちなか優良共同住宅整備促進事業)   | 若い世代や転入就業者のまちなか居住を促進するため事業を追加                           |   | 若い世代や転入就業者のまちなか居住の推進が期待できることから、指標1「中心市街地の居住推進」を上方修正する |         |            |   |   |          |
|                                       | 地域創造支援事業(まちなか空き家解体支援事業)   | まちなか居住の推進に向けて空き家の解体を支援し、定住化を促進させるため事業を追加 |               | 影響なし   |   |   |   |         |            |   |   |          |
|                                       | 地域創造支援事業(新婚夫婦定住化支援事業)   | まちなか居住の推進に向けて、新婚夫婦の定住化を促進させるため事業を追加      |               | 影響なし   |   |   |   |         |            |   |   |          |
| 交付期間の変更                               | 当初  | 平成25年度～平成29年度                            |               | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響   |   |   |   |         |            |   |   |          |
| 変更                                    | なし  |  |               |  |   |   |   |         |            |   |   |          |
| 2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況       | 指標  |  | 単位            | 従前値  | 目標値   | 数値  |   | 目標達成度   | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見)  | フォローアップ予定時期   |          |
|                                       |   |  |               | 基準年度   | 目標年度  | モニタリング  | 評価値   |         |            |   |   |          |
|                                       | 指標1   | 中心市街地の居住推進                               | 人             | 372  | H24   | 384   | H29   | 347     | △          | あり<br>なし  | まちなか居住の推進に向けて多様なニーズに対応した支援策に取組んだものの、目標にはわずかに届かなかった。<br>しかし、若い世代の流出を抑制するための支援「新婚夫婦家賃補助」などと、居住環境の向上に向けた広場整備(武生中央公園)との相乗効果により、居住人口増加への一定の効果があったと考えられる。   | 平成30年5月頃 |
|                                       | 指標2   | スポーツ施設の利用者数                              | 人/年           | 77,168   | H24   | 85,000  | H29   | 101,865 | ○          | あり<br>なし  | 施設の安全性の確保やバリアフリー等、市民ニーズに対応した多目的広場(瓜生町)及び武生中央公園多目的広場(整備中)の整備を行った。<br>また、関連事業において武生中央公園総合体育館やテニスコート整備のハード整備、施設完成時のイベント開催やネーミングライツ等のソフトな取組みとの相乗効果により目標を達成することができた。<br>施設整備にあたっては、施設規模の拡大や設備のグレードアップ、バリアフリー等、利用者が便利に使いやすい整備が行われた。 | 平成30年5月頃 |
| 指標3                                   | 休日の歩行者数   | 人/年                                      | 1,282         | H24  | 1,514   | H29   | 729   | ×       | あり<br>なし   | 平成28年度からの交通量調査方法の変更や、本庁舎の建替による生涯学習センター・市民ホールでの市民利用機能の停止等、これらの外的要因が指標に影響し歩行者数が減少した。<br>一方、居住施策や広場等の整備により歩行者の回遊性を期待したものの効果が得られなかった。また歩行者数を増加させる直接的な事業が実施できなかったことから目標を達成することができなかった。 | -   |          |
| 3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標  |  | 単位            | 従前値  | 目標値   | 数値  |   | 目標達成度※1 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見)  | フォローアップ予定時期   |          |
|                                       | その他の数値指標1   |  |               | 基準年度   | 目標年度  | モニタリング  | 評価値   |         |            |   |   |          |
| 4) 定性的な効果発現状況                         | 学生地域貢献活動等支援補助事業に関して、若い世代が主体的に参加することで、まちづくりに関する企画立案スキルの向上や次世代の担い手としての期待が高まった。また、蔵の辻でのイベントや学生支援補助事業と越前市立図書館が連携して特集コーナーの設置や、補助事業の成果を市民向けに公開講演会で講演したことにより、社会貢献活動としての公益性が高まった。 |  |               |  |   |   |   |         |            |   |   |          |
| 5) 実施過程の評価                            | 実施内容  |  |               |  |   | 実施状況  |   |         |            |   | 今後の対応方針等  |          |
|                                       | モニタリング  | -  |               |  |   | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |   |         |            |   | -   |          |
|                                       | 住民参加プロセス  | 交付対象事業に関連する事業説明会等の開催                     |               |  |   | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |   |         |            |   | ●<br>市が取り組む施策や事業について意見交換する「市政ミーティング」や、地域の課題・市政の課題等について意見交換し情報の共有を図る「地域ミーティング」、既存委員会等を活用し、評価や意見を確認する。  |          |
|                                       | 持続的なまちづくり体制の構築  | -  |               |  |   | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |   |         |            |   | -   |          |

## 様式2-2 地区の概要

### 武生北部地区(福井県越前市) 都市再生整備計画事業の成果概要

| 大目標<br>目標1<br>目標2    | 目標を定量化する指標  |     | 従前値    |     | 目標値    |     | 評価値     |     |
|----------------------|-------------|-----|--------|-----|--------|-----|---------|-----|
|                      | 中心市街地の居住推進  | 人   | 372    | H24 | 384    | H29 | 347     | H29 |
| 目標1 安全に・快適に歩いて暮らせるまち | スポーツ施設の利用者数 | 人/年 | 77,168 | H24 | 85,000 | H29 | 101,865 | H29 |
| 目標2 健康でいきいきと暮らせるまち   | 休日の歩行者数     | 人/年 | 1,282  | H24 | 1,514  | H29 | 729     | H29 |



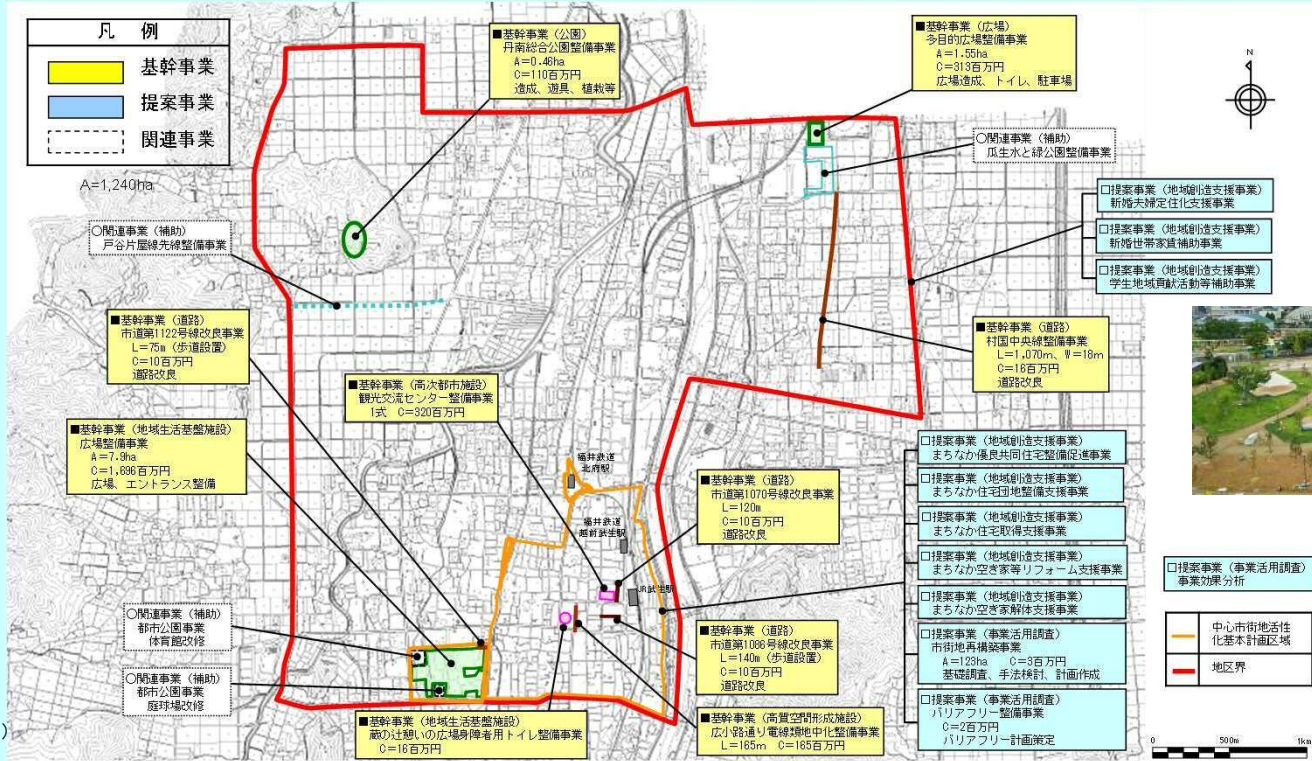
■丹南総合公園(里山エリア)



■瓜生水と緑公園(関連事業)



■武生中央公園総合体育館(関連事業)



■多目的広場(瓜生町)



■広場(武生中央公園)



■まちなか優良共同住宅(堀川町)

|                     |   |
|---------------------|---|
| まちの課題の変化            | <ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代や転入就業者の最初の住まいとしての共同住宅の整備や、新婚夫婦の定住化に向けた家賃補助により、居住人口の増加に向けた取組みに一定の効果が表れた。</li> <li>空き家の解体支援やリフォーム支援により、既存住宅ストックの有効活用へ貢献できた。</li> <li>多世代が日常的に利用できる広場や公園整備により中心市街地内の公園や緑地が拡大し、市内だけでなく市外からの利用者も多く利用している。</li> <li>施設の老朽化や市民ニーズの多様化に対応するため、丹南総合公園等に施設の一部移転や機能分担を進めながら武生中央公園内のスポーツ施設の整備を行った。施設の新設や改修だけでなく、ネーミングライツやイベント開催等のソフト施策も同時に行われ、施設利用者が増加した。</li> </ul> |
| 今後のまちづくりの方策(改善策を含む) | <ul style="list-style-type: none"> <li>まちの顔づくりの推進や安全で安心して歩ける道路環境の創出に向けて、本庁舎の建設、武生中央公園の再整備、民間病院の建替え等が必要である。</li> <li>まちなかに居住に向けて、空き家等の既存ストックの活用も含めた住宅の供給促進や、医療・福祉・子育て環境の充実を図るとともに、雇用の場を創出することでUIターンを促進し若年世代の定住を推進する必要がある。</li> <li>多種多様なスポーツニーズや市民の日常的な憩いの場づくりに向けて、武生中央公園の多目的広場や北府駅の広場整備が必要である。</li> </ul>   |